

食料産業局長賞

株式会社 新潟農商(新潟県新潟市)

【主な品目】

コメ(玄米)

【主な輸出先国・地域】

香港、シンガポール、モンゴル、他

【輸出取組の概要】

- 新潟県内の米作農家と直接契約し、新潟県産主食用米及び新規需要米を輸出。
- 現地での玄米貯蔵・精米の体制を確立し、2011年に香港に向け玄米輸出を開始。
- 2013年、モンゴルに合弁会社を設立し精米工場を建設、モンゴルへの独自ルート開拓により玄米を輸出。
- 2014年、シンガポールで現地法人との連携により精米工場を設立し、玄米で輸出開始。
- 2016年、ハワイ、ベトナムに独自の販路開拓により精米を輸出開始。
- 玄米輸出・玄米貯蔵・現地精米の体制により、スーパーマーケットや日本食レストランに、国内販売と同等品質の新潟県産米の販売を行う。

【輸出実績】(平成23年から輸出開始)

	対前年度比 輸出額(%)	輸出量(t)	出荷時期
平成28年度	175	1,250	通年
平成27年度	114	652	
平成26年度	110	521	

輸出に取り組んだきっかけ

- ・ 親会社の(株)新潟クボタは、クボタ製の農業機械の販売会社であり、ともに歩み続けてきた農家への「恩返し」のためにクボタが出来ることは何かを考えたことが、コメ輸出事業に取り組むきっかけとなりました。
- ・ 輸出に取り組む、成長が見込める海外市場の販路を開発することが、より農業者の経営安定を図るうえで必要であると考えました。

取り組む際に生じた課題

- ・ 2011年当初、これまでの輸出米は、ほとんどが日本で精米して輸出されていたため、長距離輸送後の現地販売に耐える品質の確保が難しいという課題が生じていました。
- ・ 現地での新潟県産米の認知度が不足していました。



モンゴルでの合弁会社による精米工場



行政機関視察(モンゴル)



輸出米生産者ミーティング

生じた課題への対応

- ・ 現地合弁会社を設立し、農家との直接契約から、集荷・輸出・現地精米・販売までをグループ会社で取り組み、物流・商流のシンプル化を図りました。
- ・ 輸出相手国での需要見通しを立て、品質管理で有利な玄米での輸出を行うことで、香港・シンガポール・モンゴルでは現地精米による、国内と同等な品質の新潟県産米を販売することが可能となりました。
- ・ 新潟県産米の認知度向上のため、定期的な試食販売やテレビCM等のプロモーション活動を実施しています。
- ・ 米の生産者、栽培履歴の把握、品種特性などについて、取引先へ紹介できる体制の構築を図りました。

対応の結果

- ・ 玄米輸出・現地精米により、日本産米への評価が向上し、良食味の新潟県産米の現地競争力向上に繋がりました。
- ・ コメ生産者と直接契約し、集荷から販売までをクボタグループが責任を持って行うことで、生産者との信頼関係が高まり輸出量が増加しました。
- ・ 地域に応じた品種選定や肥培管理により、中山間地域における安定したコメ生産に繋がっています。

今後の課題・展望

- ・ 現地プロモーションの継続・強化により、富裕層への浸透、日本食レストラン等への販路拡大を目指します。
- ・ クボタグループの販売ネットワークや現地精米施設をフル活用した販売促進を行います。
- ・ 2016年から、米国（ハワイ）、ベトナムなどに精米の輸出を開始し、今後は、ロシア・ヨーロッパへの販路拡大を検討しています。



展示会での試食販売（モンゴル）



モンゴルのTVCM（商標SunRice）



「新潟の食シンガポール商談会」

【活用した支援・施策】 株式会社農林漁業成長産業化支援機構（A-FIVE）からの出資（平成27年度）

【ウェブサイト】<http://www.niigata-nosho.com>

【連絡先】担当者名：バトスヘ オユン、TEL:0250-25-3160